

高円宮殿下日本カナダ 記念基金

ニューズレター

第6号 2013年11月

www.ptjc.ualberta.ca/PTJCMF

On the Cover

1. PTJC所長からのご挨拶
2. 第4回日本カナダ学術コンソーシアム学生フォーラム報告

Inside This Issue

- 第4回日本カナダ学術コンソーシアム学生フォーラム報告(前ページより続く)
3. PTJCMF学生モビリティプログラム受賞者
4. 会計報告
5. 今後のPTJC主催イベント
6. JACAC近況報告
7. 今後のPTJCMFイベント

発行者:
アルバータ大学 高円宮
日本教育・研究センター
カナダ アルバータ州
エドモントン市、
アルバータ州立大学
TELUS 203B号室 T6G 2R1
電話: 1-780-492-1569
Fax: 1-780-492-7440
ホームページ:
www.ptjc.ualberta.ca

1) 高円宮日本教育・研究センター長下野香織からのご挨拶

今回で高円宮記念基金年報は第六号となりました。高円宮殿下のご功績を記念して設立された高円宮殿下カナダ日本記念基金 (PTJCMF) は、日加間学生流動及び日本分野教育・研究並びに文化交流プログラムを奨励・支援していくことにより更なる日加関係の強化に努めることを目的としております。今後も故高円宮殿下のご功績と新年に敬意を払い、当基金のプログラム推進に尽力を尽くして参りますので、引き続きご支援・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

今年と来年は日本・カナダ修好85周年にあたります。その記念事業の一環として、2013年11月7日から2014年1月8日の期間、在日本カナダ大使館高円宮記念ギャラリーにて「境界域：池田良二&ウォルター・ジュール版画展」が開催されております。この版画展はカナダ大使館とアルバータ大学の共催として、本学名誉教授であるウォルター・ジュール氏と、武蔵野美術大学教授で、客員教授 (1994年) として当学と長年交流のある池田良二氏の二名の版画作品を展示しております。二人の相互協力と友好的な関係はまるで日本とカナダの強い絆を表しているようです。その意味では、今回の版画展は日加間の交流関係の奥深さ、そしてその意義を再確認する機会でもあります。

2) 第四回日本カナダ学術コンソーシアム学生フォーラム報告 2013年2月16-24日

第四回日加学術コンソーシアム学生フォーラムは、カナダトロント市ヨーク大学にて開催されました。カナダの加盟校8校から14名、日本の11校から14名の学生が参加しました。そして、今回初めて過去に参加した学生がアドバイザーとして参加しました。「日加経済関係強化とその課題—現代の若者はどう行動すべきか—」というテーマのもと、学生は3つの議題について議論を交わしました。



トロント市、JACAC学生フォーラムの様子。

1. 現代の若者は、グローバル化する競争社会の中で何をすべきか
2. グローバル社会が直面している経済問題に対して若者はどう協力し、対応していくべきか。
3. 日加間の経済連携協定 (EPA) は将来若者にどのような機会や利益をもたらすのか。

日本・カナダ学生学術フォーラムは、日本・カナダ両国の学生が新たな学術的な知見を獲得し意見交換をすることにより、学術情報の共有、日加学生交流の促進、そして両国間の相互理解の深化に貢献することを目標としています。今年のフォーラムに出席し学生は、学術や業界の専門家による講義及び、日加の学生の相互協力によるグループプロジェクトに取り組みました。

第4回JACACフォーラム報告（前のページから続く。）

講義とグループセッションはヨーク大学で開催され、2月19日には、在カナダ日本大使館にてレセプションが開かれました。最終日には国際交流基金トロント日本文化センターにて各学生グループによる成果発表も行われ、閉会式及びレセプションが開かれました。

参加学生たちは、フォーラムプログラムを通して日加両国の問題や各人の学業や生活について話し合い、相互理解をより深める事ができました。第5回フォーラムは2014年2月14日から23日の期間、東京の明治大学で開催されます。（詳細は項目7をご覧ください）

参加学生からのコメント

私は今回のコンソーシアムにカナダ側参加者として参加できて本当によかったと思います。日本の学生との親密な交流や、各専門家による講義など、貴重な体験ができました。特にカナダと日本の学生のペアで構成されたグループ活動はとても良いアイデアだと思いました。全体的に、第四回フォーラムに参加できて本当に楽しかったし、様々なことを勉強する機会にもなりました。

アンソフィ・ラッセル （ラヴァール大学）

まず、今回のフォーラム開催に携わった皆様にお礼を申し上げます。カナダと日本の両国の経済の課題に直面している現代の若者について焦点を当てたテーマに深く感銘を受けました。JACAC参加者とはコンソーシアムの中だけではなく外のイベントでも意見を交わす事ができて良かったです。今回カナダを訪問するのは初めてだったので、私にとって全てが新しい経験でした。カナダの気候は寒くて乾燥していて、慣れることはできませんでしたが、今までと違う体験ができて良かったです。カナダの伝統的な食べ物、プーティンは、日本に輸出したいと思うぐらい美味しかったです。これらの点だけでなく、私はカナダで出会った人々は皆私のような外国人にとっても親切にしてくれました。重ねて、今回のフォーラムに参加できたことと、ヨーク大学のスタッフの皆様感謝します。

服部 摩耶斗 （明治大学）

フォーラム参加者リスト

カナダ

ソーヨング・チャン（ブリティッシュコロンビア大学）
 ガブリエル・チェン（ブリティッシュコロンビア大学）
 ジョン・クリストファー・ドゥモント（ラヴァール大学）
 ピーター・ディロコ（クイーンズ大学）
 タカユキ・フカダ（ウォータールー大学）
 エミリー・ファン（アルバータ大学）
 マリオ・ゲイブリエル（モントリオール大学）
 メーガン・フッド（プリンスエドワードアイランド大学）
 ブレット・ハスティス（プリンスエドワードアイランド大学）
 クリスチャン・ロウブマン（アルバータ大学）
 ベンジャミン・マクドナルド（プリンスエドワードアイランド大学）
 ダロン・マーティン（ヨーク大学）
 アンソフィ・ラッセル（ラヴァール大学）
 ジョアナ・リークス（アルバータ大学）

日本

新井 智賀（立命館大学）
 阿蘇 将也（名古屋大学）
 服部 摩耶斗（明治大学）
 池田 倫啓（立命館大学）
 石丸 百恵実（北海道大学）
 小坂 健人（法政大学）
 水谷 友梨（京都教育大学）
 中島 健（上智大学）
 杉本 晃一（法政大学）
 高橋 萌（城西国際大学）
 寺内 勇人（関西学院大学）
 手塚 咲貴（津田塾大学）
 巖 蘇秦（桜美林大学）
 柳下大輔（明治大学）

日本カナダ学術コンソーシアムの詳細や加盟校についての情報はウェブサイトをご覧ください。
 <www.jacac.com>

3) PTJCMF学生モビリティプログラム 受賞者(2012年10月-13年9月)

高円宮妃殿下英語論文コンクール 2012年12月

2012年度の論文テーマは、「Discuss the role of Canada on the International Stage—国際舞台におけるカナダの役割—」です。今年之最優秀賞は、東京大学の服部雄人さんの論文、「Expressing the Value of Symbiosis: The Role of Canada on the International Stage」が、二等賞には、東京大学の照井敬生さんの論文「Keeping Canada's uniqueness」が選ばれました。服部さんには、アルバータ大学英語プログラムの一学期分の授業料と、750ドルの旅費が、照井さんにはアルバータ大学英語プログラムの一学期分の授業料が授与されました。服部さんは、2013年アルバータ大学夏期講習を受講しました。

コンクールの詳細及び受賞論文はPTJCMFサイトをご覧ください。<<http://www.ptjc.ualberta.ca/PTJCMF>>

第24回全カナダ日本語弁論大会 2013年3月23日

2013年全カナダ日本語弁論大会はマニトバ大学とPTJCの共催でマニトバ州ウィニペグ市にて開催されました。最優秀賞にはクイーンズ大学のピーター・ディロコさんのスピーチ、「私の夢」が選ばれました。大会の詳細は全カナダ日本語弁論大会ウェブサイトをご覧ください。<<http://www.cajle.info/programs/speech-contest/>>



2013年全カナダ日本語弁論大会入賞者及び参加者。

第4回日本・カナダ学生学術フォーラム 2013年2月16-24日

高円宮殿下記念基金は2013年学生フォーラムの詳細は、セクションIIをご覧ください。

夏期日本語研修への旅費助成 2013年5月21日-6月21日

PTJCMFは、京都、立命館大学主催の夏期日本語研修に参加する学生に対し、旅費助成を行っております。この5週間コースでは日本語及び日本文化と歴史について学びました。今年の実賞者はカイル・ハズブロックさん、マシュー・ハンさん、ベンソン・ングさん、ミシェル・ペーターロックさん、カルメン・テトルトさんです。

JACOS-JAPEX工学技術奨学金 2013年9月

2008年にアルバータ大学生を対象に認可されて以来、現在JACOS-JAPEX工学技術奨学金はアルバータ州の3大学、アルバータ大学、キアノ・カレッジ、そして2012年よりはカルガリー大学の学生から選ばれています。本奨学金は、鉱山工学、石油工学、化学工学、マテリアル工学、地質工学、環境工学に就学中の2・3・4回生の中から最も優秀な成績を収めた学生に授与されます。

4) PTJCMF会計報告

2013年3月31日時点で、帳簿残高は1,570,034.50ドルになります。運用配分額は80,268.12ドルで、これより65,000ドルが2013-2014年度予算に充てられます。

アルバータ大学

- デヴリン・モリソン
- ニコラス・レイモンド
- シューイン・ユアン

カルガリー大学

- 未公表

キアノカレッジ

- ジェニファー・アーネソン
- トラヴィス・バックスター
- アサド・ヒダヤット

5) 高円宮日本教育・研究センター主催のその他のイベント

PTJCでは毎年日本語教育や日本文化の研究の促進の為の地域、または全国的なイベントを主催しています。カナダ国内の民間企業や政府の協力の下、日本分野の教育・研究へのサポートを提供しています。



琵琶演奏家、田原順子氏とジュエ・アヒア・ヒー氏の共演。

シルクロードの出会い：日本琵琶と中国琵琶の競演

2012年11月19日

PTJC、中国学院、Folkwaysalive!の共催で開催された日本琵琶・中国琵琶（ピパ）コンサートでは、琵琶演奏家田原順子、ジュエ・アヒア・ヒー両氏が国境を超越したパフォーマンスを披露しました。このコンサートは、日本式の琵琶と中国式琵琶の両方を体験できる素晴らしい機会でした。各アーティストのソロだけではなく、革新的なコラボレーションは聴衆に大いに感銘を与えました。

悠久の美：片岡紫江書道展

2012年11月21日—2013年3月2日

「悠久の美」書道展は、アルバータ大学博物館とPTJC共催で開催されました。アルバータ大学博物館のジム・コリガン氏によるキュレーションにより、書道家片岡紫江氏がアルバータ大学アートコレクションからインスパイアされた書を作成しました。書道展の開会式は11月21日に行われ、琵琶演奏家田原順子氏の演奏に伴った書道パフォーマンスが披露されました。



片岡紫江書道展の様子。

オリエントの夜

2012年12月6日

PTJC主催によるイベントでは、片岡紫江氏による書道展ツアー及び利き酒イベントがエドモントン・スクエアギャラリーにて開催されました

源氏物語 書道イベント

2013年1月10日

片岡紫江氏による書道パフォーマンスがアルバータ大学で行われました。今イベントでは、「源氏物語」より抜粋した一節をソニア・アンツェン博士による解説と共に書に表しました。

日本ゲーム研究国際会議

2013年5月24-26日

ゲーム文化、ゲームの教育利用、ゲーム産業を題材とした、国際的な研究会議を命館大学ゲーム研究センター、PTJC、カナダコンピューター芸術研究所、GRANDネットワークエクセレンスセンターのサポートのもと立命館大学にて開催しました。北米と日本両国の参加者は、最新のゲーム研究の潮流について発表と討論する機会が与えられました。第3回日本ゲーム研究会議は再びエドモントンに戻り、アルバータ大学で開催されます。

第二言語習得研究と外国語教育ワークショップ

2013年6月19日

ピッツバーグ大学、白井恭弘博士による、第二言語習得研究と外国語教育に関する講演会が行われました。今回の講演は第二言語として日本語を教えている日本語教師の意欲を大いにかきたてました。PTJC、カルガリー大学及びカルガリー補習校の共催のもと、アルバータビジネス懇話会よりスポンサーとしてのご協力を頂き、カルガリー大学ドイツ学・スラブ学・東アジア学科にて開催されました。

日本語第二言語習得学の認知的・機能的アプローチ 2013年6月21日

PTJCは、第12回国際認知言語学会議（ICLC-12）にてプリカンファレンス・シンポジウムを開催しました。今シンポジウムは当初バンフで開催予定でしたが、アルバータ州南部での大規模な洪水の影響で急遽会場をカルガリー大学に変更しましたが、基調講演者としてピッツバーグ大学白井博士を、ゲスト講演者としてインディアナ大学辻村成津子博士と大阪大学秋田喜美博士をお招きし、有意義な集りとなりました。

6) 日加学術コンソーシアム近況報告

現在の加盟校はカナダより10校、日本より13校の合計23校です。JACACについての詳細はウェブサイトをご参照下さい。<www.jacac.com>

加盟校（2013年11月1日時点）

日本側

明治大学
城西国際大学
上智大学
桜美林大学
関西学院大学
法政大学
立命館大学
北海道大学

京都教育大学
名古屋大学
早稲田大学
津田塾大学
西南学院大学

カナダ側

アルバータ大学
ブリティッシュコロンビア大学

ヨーク大学
クイーンズ大学
モントリオール大学
コンコーディア大学
ラヴァル大学
プリンスエドワードアイランド大学
ウォータールー大学
マニトバ大学

7) 今後のPTJCMFイベント

高田宮妃殿下英語小論文コンクール

今年度の英語小論文コンクールは11月4日に締め切られ、現在応募論文を審査中です。日本の大学生を対象とした今コンクールでは最優秀賞受賞者に、アルバータ大学英語プログラムの学費を含む3000カナダドル相当の奨学金が授与されます。2012年度の小論文トピックは、「国際舞台におけるカナダの位置づけ」です。

日本カナダ学術コンソーシアム・学生フォーラム 2014年2月14-23日

2014年度2月に予定されている第5回日加学術コンソーシアム・学生フォーラムは、東京都の明治大学・駿河台キャンパスで開催されます。例年通り、三、四回生の学部生が加盟校を代表してトピックに沿った意見交換や議論を行います。今回のトピックは、「持続可能な未来をどう築くかー高齢化に直面する日加の課題（*Toward a Sustainable Economic and Social Development: Challenges in Aging Society in Canada and Japan*）」です。今回のフォーラムでは、トピックを理解し、日加の学生間の相互理解をより深めることを目標としています。

全カナダ日本語弁論大会 2013年3月29日

3月にはカナダ国内の7地区で地区大会が開催され、各地区の上位入賞者には、全国大会参加資格と旅費が授与されます。2013年度全国大会は、在オタワ日本国大使館にて開催されます。毎年、事ながら高レベルな発表が多く、大会審査員も多くの優秀な発表の中から受賞者を選ぶ事は年々難しくなっているのではないのでしょうか。全国大会大賞受賞者には、PTJCMF より大賞として旅行補助金が授与されます。地区大会の詳細はウェブサイトをご覧ください。<www.cajle.info>